

59件の出動を要請、47人を搬送 平成22年のドクターヘリ運航状況

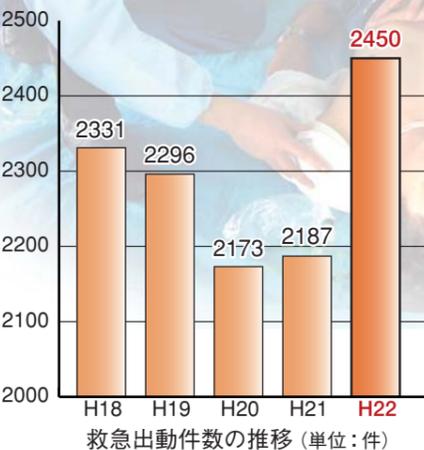


平成22年4月から、京丹後市域でも、豊岡市の公立豊岡病院を拠点としてドクターヘリの運航が始まっています。これにより、本市の救急医療体制は、さらなる充実に向け大きな一歩を踏み出しました。

昨年4月から12月までの間に、市消防本部では急病や交通事故などの救急患者に対して59件の出動を要請し、47人を搬送しました。

また、ドクターヘリを支援するため、救急車のほか広報車やポンプ車が出動します。緊急車両の通行にご協力をお願いします。

猛暑などで大幅に増加
病气やけがで緊急を要するかたを救うため、救急出動した件数は2450件で、21年に比べ263件増加。過去最多の出動件数となりました。1日の平均件数は6・7件で、単純計算で3・6時間に1回出動したことになります。



【救急】 2,450件

310件。猛暑による熱中症の発生が多かったためと考えられます。傷病の程度別で見ると、死亡73人、重症196人、中等症1051人、軽症983人でした。搬送人員に対する軽症者の割合は全体の4割以上を占めています。1人でも多くの命を救うために、救急車の適正な利用をお願いします。

22年を振り返ると
平成22年は、火災、救急、救助全ての件数が増加。8月には猛暑による災害が多く発生しました。市消防本部では、多様化する災害に対応するため、さまざまな現場を想定して日々訓練を重ねています。皆さんも日ごろから防災意識を持ち、災害への備えをしていただきますようお願いいたします。

4割がいたずらや間違ひ
指令室で取り扱った1119番通報の総受信件数は3693件で、21年より287件増加しました。このうち、いたずらや間違ひ、急を要さない問い合わせなどの合計が1561件で、全体の4割を占めています。市民の皆さんが119番通報を正しく利用することで、災害や救急に素早く対応することが出来ます。お問い合わせなどは、6201119番にお問い合わせをお願いします。

【通信】 3,693件



新山保育所(峰山町荒山)の子どもたちも住宅用火災警報器の設置をPR

消防統計2010

昨年中の市内の火災発生状況や救急救助活動状況など、消防・防災に関する各種の統計調査結果をお知らせします。



市消防本部 消防長
坪倉 護

住宅火災から家族を守るために

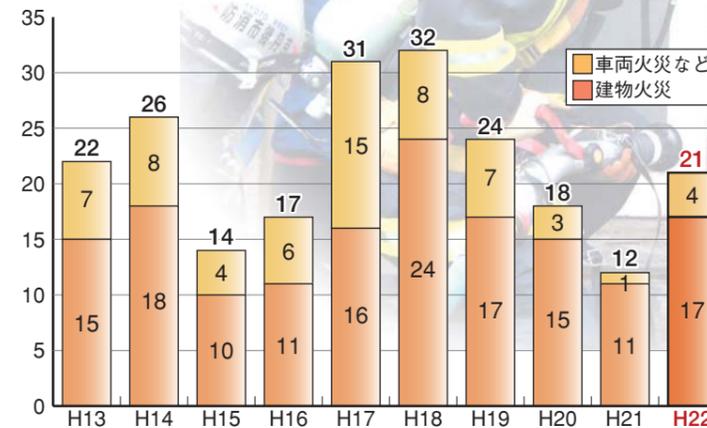
昨年、京丹後市内において、残念ながら火災によって2人が亡くなりました。市では、住宅火災からの逃げ遅れをなくすため、いち早く火災の発生を知らせてくれる「住宅用火災警報器」の設置を推進しています。今年の5月末には、既存住宅への警報器の設置期限が迫っています。1日も早く、設置をお願いします。

今後も災害に強いまちづくりのため、消防職員一同全力で取り組んでまいりますので、ご支援・ご協力をお願いします。

死傷者は過去最多の13人

火災件数は21件で、平成21年に比べて9件増加しました。種類別に見ると、建物火災が17件、車両火災が3件、その他の火災が1件となっています。火災による死傷者数は、死者2人、負傷者11人で、過去最多となりました。原因別では、たき火からの延焼が4件で最多。ストーブから、そして電気装置からの出火がそれぞれ2件ずつ、その他の原因によるものが13件でした。住宅用火災警報器を設置することにより、火災の発生にいち早く気付くことができます。火災による死傷者を減らすためにも、1日も早い設置をお願いします。

【火災】 21件



市内で発生した火災の件数の推移 (単位: 件)



地域別に見た平成22年火災発生状況 (単位: 件)

【救助】

45件

交通事故が7割を占める
事故や災害などの発生により、救助に出勤した件数は45件で、21年に比べ15件増えました。事故種別では、交通事故が30件と最も多く、全体の約7割を占めています。続いて水難事故が7件、その他の事故が8件でした。

電気火災を防ぐポイント 家庭で確認してください

- ①コンセントに差しっぱなしのプラグに、ほこりがたまっていませんか?
- ②電気コードが、家具などの下敷きになっていませんか?
- ③電気コードを束ねたり、ねじれたままで使用していませんか?
- ④電気コードが傷ついていませんか?